

コスミックテクノロジーとユーザー様をつなぐコミュニケーション新聞

ありがとう新聞

発行人 有限会社コスミック
 広島県三原市円一町
 4丁目1番40号
 代表取締役
 小積 忠生
<http://www.cosmic.co.jp>

今月の言葉
 必要と思われる方に
 必要な時に
 必要な情報をお届けし
 感動が生まれ
 感謝に変わり
 ありがとうございます
 くださる
 夢の実現を目指して



去る7月30日、大分県佐伯市に山

特集

ビタミンCは「アンチエイジングホルモン」

岡山大学山本 格名譽教授を招き勉強会を開催

去る7月30・31日、岡山大学名誉教授・山本 格（いたる）先生をお招きして、先生が研究、開発した安定型ビタミンCの勉強会を行いました。

本格先生をお招きし、先生の発明した安定型ビタミン（L-アスコルビン酸2グルコシド）の勉強会が行われました。ま

た翌日には、生命力再生共働体の成果視察も行われました。さて勉強会の内容ですが、人間本来の寿命は、内的あるいは外的要因により過剰生成される活性酸素によって酸化ストレスに晒されることで短くなっていると、わかりやすく説明されました。そして、植物が酸化ストレスから身を守るためにビタミンCを生成していること、様々な動物実験から、ビタミンCこそは人類にとってのア



▲代表 小積忠生

信念が生んだ、出会い。

コスミックテクノロジーをご愛用の皆様、いつもありがとうございます。共働体の活動も軌道にのりつつあり、先日は地元の経済誌にも紹介されました。また、志を同じくする安定型ビタミンの研究者にも知己を得て、コラボレーションもスタートしました。

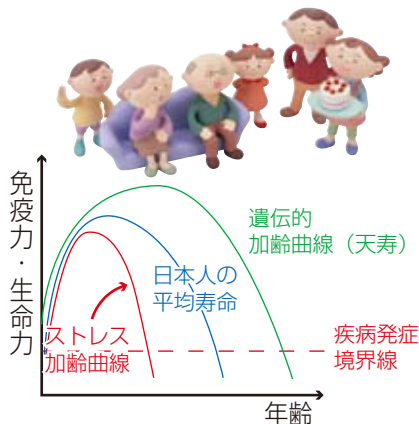
ビタミンCは本来、水で容易に壊れる物ですが、この安定型ビタミンは水に強く、ゆっくりと吸収されるので、コスミックウォーターと相まって、生命力・免疫力の活性化に大いに役立つと期待しています。信念をもって取り組んでいると、良い出会いが待っている、そんな想いを強くしているこのごろです。
 （代表取締役 小積忠生）

コスミックウォーターも、そして安定型ビタミンもどちらも生命が本来持っている免疫力を活かす働きをします。

絵で見る安定型ビタミン

なぜ、ビタミンCが必要な？
 安定型ってなに？

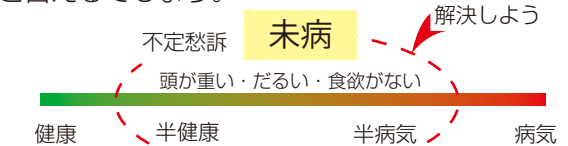
①長生き、アンチエイジングは昔から私たちの関心事でした。



②内的・外的要因のストレスに晒されることで、私たちは寿命を縮めています（活性酸素の過剰生産状態）。

ストレスにはタバコや、人間関係の悩み、などなどあります。

③不定愁訴はビタミンの欠乏症状です。病気ではないが、健康でもない。「未病」の状態と言えるでしょう。

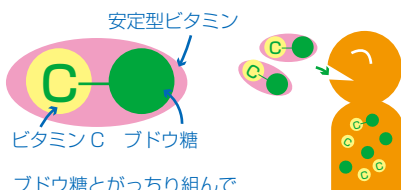


健康になるには、生体抗酸化システムともいうべきビタミンCが大切です。

④人間は自分でビタミンを作ることができません。野菜もハウス栽培でストレスが少ないせいかビタミンの生成が少なくなっています。ビタミンサプリが必要な理由はまさにここにあります。



⑤壊れやすいビタミンを安定型にして壊れにくくし、ゆっくり吸収されるように発明したのが「安定型ビタミン」です。



ブドウ糖とがっちり組んで安定的、壊れにくい。ブドウ糖は体内でエネルギーに。ビタミンもゆっくり吸収し、抗酸化を進めます。

ンチエイジングホルモンであると解説されました。先生の発明した安定型ビタミンは本来水や光等で壊れやすいビタミンにブドウ糖を結合させ壊れにくくしたもので、商品化が進んでいます。



▲山本 格（いたる）
 岡山大学名誉教授
 薬学部教授在任中に高浸透型ビタミンCを開発。2004年9月、岡山大学発ベンチャー株式会社アスコルバイオ研究所設立、代表取締役任に就任、現在に至る。

“博士が愛したビタミン” 2日間の記録

大分県佐伯市で行われた山本教授による「博士が愛したビタミン」と題して行われた講演会と、生命力再生共働体テクノロジー視察の2日間を写真でまとめてみました。



専門的な内容にも関わらず約100人の皆さんが集まり講演会は盛況でした。
(7月30日/佐伯市保健福祉総合センター和楽)



養殖魚の餌の中に安定型ビタミンCを添加することについて意見交換がおこなわれました。
(7月31日/佐伯市 いだち水産様にて)



山本格先生と小積代表。
安定型ビタミンと、コズミックウォーター、この二つの同じ方向性を持つ製品のコラボレーションが始まり、生産現場での導入が進んでいます。



いだち水産様での施工事例。死魚率も減少し、酸素ポンプやブローも不要になりました。写真はコズミックテクノロジーを活用した海水によるうなぎの養殖風景。
(7月31日/佐伯市)

東日本復興連絡会キックオフ

「あなたと共に、他者と共に、

みんなで幸せな社会をつくりましょっ

このたびの震災をきっかけに、被災地の皆さんのメンタル面も含めた幸福を求めて、フェリス生名舎会長、樹福書院理事長を中心としたメンバーで「東日本復興連絡会」が立ち上げられました。有限会社「コズミックもメンバー」となり、生命力再生共働体として貢献できることに取り組んでいます。津波で塩害を受けた水田の復幸についてはすでに実験も終了し、東北地区で対策を

実施しています。また放射能汚染の除去についても実験と検証を繰り返しています。

【今までの会議】

●6月14日「今後の活動方針について」

●7月12日「個々に創電、家庭で創電、地域で創電。復幸エネルギーの可能性」

ゲスト：元・AEA研究員 法橋 登様

●8月30日「自分道 × 対話のライフラインから真の復幸を考える」

ゲスト：作家 玉岡 かおる様

●10月2日「彩花が教えてくれた『生きる力』と感謝する心と真の『幸福』を改めて語る」

ゲスト：山下 京子様

実施しています。また放射能汚染の除去についても実験と検証を繰り返しています。

被災地に朗報なるか？ 稲の塩害克服試験

3月11日の東日本大震災は東北地方の稲作にも甚大な被害をもたらしました。太平洋岸の水田の多くは、津波で塩害を受けています。そして、今まで通りの水田に戻すには相当の期間がかかると言われていました。

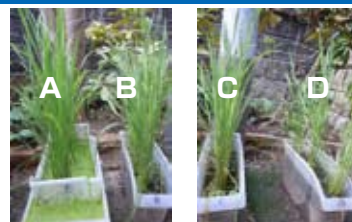
この塩害の克服にコズミックウォーターでお役にたてないだろうか、ということで実験をしました。その実験を写真と図解によりご紹介します。

塩害克服実験

実験…壺内令子様・矢野和子様



▲6月20日
塩害を再現し
実験開始。
6月26日、
田植え。
→
8月12日▶
実験の様子。



壺内様の実験

- 6月20日…海水2ℓを投入し、塩害を受けた水田を再現。
- 6月23日…コズミックウォーターを投入。
A: 原液2ℓ投入。B: 忠海セラミックスで濾過したコズミックウォーター投入。
C: コズミックウォーター10倍希釈。D: コズミックウォーター500倍希釈。
- 6月26日…田植えを実施。
- 7月9日…塩害により枯れ始めたため、生命力再生を図り、忠海セラミックスを投入しコズミックウォーターで容器を満たしました。なお、この時点で根はすべて活着していました。結果は全て根付き、Aの成長が一番でした。



▲6月16日実験開始。写真は9月5日のものです。やはりコズミックウォーターの濃度が成長に影響を与えることがわかりました。また、濃度の高い方が水の透明度が高いのも新たな発見でした。

矢野様の実験

- 6月17日…「ろ」、「は」へ海水2ℓを投入し、塩害を受けた水田を再現（「い」は川の水のみ）。
- 6月18日…コズミックウォーターを投入。
「ろ」：コズミックウォーター10倍希釈。
「は」：コズミックウォーター500倍希釈。
- 6月20日…田植えを実施。
- 7月9日…「は」が枯れたままなので、生命力再生を図るため、全バケツにコズミックウォーターを投入、以降8月6日、15日追加で投入。
*「い」「ろ」「は」何れも向かって右の株は苗の時点でコズミックウォーターにつけましたが、分けつ、稲穂共に成長が悪くなっていました。

お客様へのお願い

コズミックウォーターを使って「あ、変わったな、よくなったな」と思われる事柄がありましたら、電話・ファックス・メールで有限会社コズミックへお送り下さい。ありがとうございます。ご紹介させていただきます。

電話 0848-64-3584
ファックス 0848-64-3652
メール cosmic@vega.ocn.ne.jp

